

第1回西葛西小避難所開設・運営訓練準備会記録

1 会次第

- (1) 校長あいさつ
- (2) 地域防災 江戸川区からの提案
江戸川区 危機管理室 防災危機管理課 防災係 宍戸、佐藤
- (3) 避難所開設・運営マニュアルについて 校長
- (4) 質疑応答
- (5) 防災備蓄品紹介

2 参加者

- ・グリーンヒル西葛西1号館自治会長 ・グリーンヒル西葛西2号館自治会長
- ・ライオンズプラザ西葛西自治会長 ・ライオンズマンション小島町自治会長(代理)
- ・小島町会 会長 ・バームハイツ西葛西自治会長・
- ・西葛西小学校PTA会長 ・西葛西小学校PTA副会長
- ・区危機管理室防災危機管理課防災係2名
- ・校長 ・副校長 ・生活指導主幹
- (欠席)・エヴァーグリーン西葛西管理組合 ・ローズガーデンラフィール西葛西理事長
- ・バームハイツ西葛西二番館自治会長 ・コスモアーシュ西葛西管理組合理事長
- ・サンマンションアトレ管理組合理事長

3 会議録

- 西葛西小の建物は、どの程度の地震に耐えられるか。→震度7強までである。
- 飲料水の確保はどうか。→受水槽に10t蓄えられる。
- 江戸川は、過去の津波で洪水の被害を受けた。現在も堤防が決壊したら同様の被害が起こる。
- 想定される津波の高さの正確な情報が知りたい。
- 災害の際の防災組織を決めておく必要がある。
- 災害の際に、避難所に行かず、自宅に残る可能性がある。それぞれの自治会の体制を作ってから避難所開設に来られるかということである。
- 夜間等に災害が起きた場合を考える必要がある。自分たちの自治会が優先になると考える。
- 自治会で体制を確認した後、避難所開設に人を派遣するということになる。
- 発災直後に避難所開設に来られるか疑問である。
- 町会、各自治会で避難所担当を決めるのはどうか。
- 町会、各自治会から人を捻出する。→町会、各自治会でもち帰って何人の人を出せるか検討する。
- 避難所の居住想定等はどうなるか。
- 避難所開設について、町会、各自治会で何人ずつ必要あるか。→1つの自治会に1つの班(役割)を担っていただく。避難所開設に必要な人数等については区とも相談し、準備会を重ねて話し合っていく。
- 町会は、複数の避難所にかかわるので、どの学校(避難所)に参集するか検討する。
- 災害が勤務時間中に起きたときは、教職員が避難所開設にあたる、勤務時間外では町会、自治会の方が避難所開設を行う。避難所の運営については、町会、自治会中心に行う。
- 避難所(学校)に緊急物資が届く。物資の必要数は避難所の避難者数に加えて、自宅で待機している方の数を町会、自治会から避難所に伝えてもらう。避難所から区の本部へ連絡する。

次回の準備会は8月30日(土)に行う。